

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成 27 年 6 月 11 日 (2015.6.11)

【公開番号】特開 2013-232708 (P2013-232708A)
 【公開日】平成 25 年 11 月 14 日 (2013.11.14)
 【年通号数】公開・登録公報 2013-062
 【出願番号】特願 2012-102523 (P2012-102523)
 【国際特許分類】

H 0 4 N 5/225 (2006.01)

【 F I 】

H 0 4 N 5/225 C

H 0 4 N 5/225 E

【手続補正書】

【提出日】平成 27 年 4 月 15 日 (2015.4.15)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 2 7 】

ベゼル 1 3 3 は、外側カバー 1 3 1 の内部に内側カバー 1 3 2 を配置した状態で、基台部 1 2 のベゼル取付部 1 2 4 に対して内側カバー 1 3 2 および外側カバー 1 3 1 を基台部 1 2 に装着するものである。ベゼル 1 3 3 は、その平面形状がリング状（または縁状）であって、側面形状が傾斜面を有するように形成される。ベゼル 1 3 3 の内周面には、取付溝 1 2 5 と係合するための突起部 1 3 6 が複数個所（例えば 3 か所）に形成される。

ベゼル 1 3 3（またはカバーユニット 1 3）の外周面の一部には、後述の係合部 1 7 がレバー 1 4 に対向する位置にあることを示すために、マーク 1 3 7 が付される。マーク 1 3 7 は、ベゼル 1 3 3 の外周面に刻印または切欠きによって形成するか、塗料を塗ったり、印刷したシールを張り付ける等によって付してもよい。

なお、実施例では、外側カバー 1 3 1 とベゼル 1 3 3 を分離可能に構成した場合を示すが、両者を一体的に構成してもよいことは勿論である。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 7】

前記カバーユニットは、ドーム型の外側カバーと、外側カバーの内側に配置される内側カバーとを含んで構成され、

前記内側カバーは、その周縁部であって、前記レバーと対向する第 1 の面に凹凸状部が形成され、

前記係合部は、前記内側カバーに対向する第 2 の面が当該凹凸状部に嵌り合う形状に形成され、

前記レバーが固定位置にあるとき、前記内側カバーの第 1 の面の凹凸状部の一部と前記係合部の第 2 の面が嵌り合うことによって、前記内側カバーが円周方向に移動するのを制限することを特徴とする、請求項 1 ないし請求項 6 のいずれかに記載のドーム型カメラ。